

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 川崎病血管病変形成における低酸素シグナル伝達の関与 』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 病理診断科 職位・氏名 教授・高橋 啓

【研究の目的】

東邦大学医療センター大橋病院病理診断科では、スペイン、マドリードにある国立循環器研究センターとの共同研究として、低酸素シグナル伝達*が川崎病心血管病変の発生に関与しているかを検討することを目的として本研究を計画しました。この研究で得られる成果は、原因が不明な川崎病の病態解明や新規治療薬の開発につながる可能性があります。

*組織は低酸素状態が続くと様々な物質を分泌し、血管を構成する内皮細胞や平滑筋細胞にも大きな影響を及ぼします。この機構を**低酸素シグナル伝達**と呼びます。低酸素シグナル伝達に異常がある動物では動脈瘤や炎症が発生することが知られており、全身の血管に炎症が生じる川崎病の血管病変にもこの低酸素シグナル伝達の異常が関連している可能性があります。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大橋病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者：1960年4月～2000年12月の間に剖検が施行され、東邦大学医療センター大橋病院病理診断科で保存・管理されている急性期川崎病症例。

方法：冠動脈病変における低酸度シグナル伝達系に関与する蛋白の発現を免疫組織学的手法を用いて検討します。

【研究に用いられる試料・情報】

急性期川崎病剖検5症例の冠動脈未染標本、各症例の年齢、性、病日

【外部への試料・情報の提供】

共同研究施設であるスペイン国立循環器研究センターに個人が特定出来ないようにして送付されます。

【研究組織】

代表施設名： 東邦大学医療センター大橋病院病理診断科

研究代表医師： 高橋 啓 役職： 教授

共同研究施設： スペイン国立循環器研究センター

National Center for Cardiovascular Research, Madrid, Spain

検索結果について両施設で情報交換と討議がなされます。

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】 東邦大学医療センター大橋病院 病理診断科

職位・氏名 教授・高橋 啓

電話 03-3468-1251 内線 7609